

# 2022年 北海道牧場見学の旅4日間



AVAILABLE TOURS - RACING HOLIDAY  
株式会社縁トラベル

# 牧場見学 6 か条



これから皆さんが見学するスタリオン（種牡馬場）や生産牧場は観光牧場ではありません。

ご厚意により見学させていただいています。

牧場さんにとって、馬は大切な商品であり、資産です。

また、サラブレッドはとても繊細な生き物です。

私たちの不用意な行動が驚異となり、結果として馬や人を傷つけてしまう事態を招きかねないという事を十分に理解して牧場内では行動するようお願いいたします。

## 1. 馬には触らない！

大好きな馬が近くで見ることが出来れば、思わずなでてしまいたくなります。が、基本的に馬を触ることは許されていません。特に種牡馬は危険でもあります。普段、大人しそうにみえていても、急に噛みついてくる事もあります。馬は遊びのつもりで軽く噛んだつもりでも、大怪我に至る場合があります。**むやみに近づいたり、触ったりはしない事が大切です。**

なお、功労馬等は触る事が出来る牧場もあります。許可が出て触る事が許された時にも行動には十分注意して触れ合うようお願いします。

## 2. 馬に食べ物を与えない

牧場の馬たちは食べ物もきちんと管理されています。

**勝手に食べ物を与えてはいけません。**

**放牧地に生えている草だからといって、ちぎって与えることもしてはいけません。**

## 3. 牧場の見学指示に従い、許可されていない場所には立ち入らない

牧場では伝染病予防等いろいろな事で日々気を使っています。

特に**厩舎への立ち入りは基本的に不可**と認識して下さい。

見学を許可されたからといって、全ての場所の立ち入りが許されている訳ではありません。牧場内には従業員の住む家が併設されていたりもします、むやみに牧場内を歩き回るのはしないで下さい。

## 4. 大きな音をたてない、走らない

サラブレッドはとても繊細で臆病な生き物です。

聞き慣れない音や、見慣れない者、急な動きに必要以上に驚く場合があります。

馬を刺激しないよう、**牧場内では大声をあげたり、大きな音を鳴らしたり、走ることはしてはいけません。**

## 5. 牧場内は禁煙です

## 6. カメラのフラッシュは厳禁

見学も後半になってくると、慣れや気の緩みで上記の件を忘れがちです。最終行程まで十分に注意し、楽しい旅となるようご協力お願いいたします。

注※繁養馬のリストを記載しておりますが、全ての馬が見学できるとは限りません



## 馬の展示見学の場合のお願い

馬の展示の際には撮影所が限られていますので、見学者全員が良い位置で撮影など出来ない場合もあります。

最前列の方は、後列になってしまった人にもお気遣いいただき、しゃがむ又は交代するなど、譲り合いのご協力をお願いします。

場 所：苫小牧市美沢 1 1 4 - 7  
 観光牧場：9:00～18:00（冬期 10:00～16:00）  
 入園料：大人800円

千歳空港近くにある観光牧場であるノーザンホースパーク。  
 アクティビティやグルメはもちろん、引退した馬たちに会えるスポットでもあります。  
 パーク内にある馬見の丘からはノーザンファームの馬たちの様子が見れたりします。  
 もしかしたら、有名な馬がみれたりするかもしれませんよ。



メドウラーク  
2011年生まれ(11)

フォゲッタブル  
2006年生まれ(16)



プラストワンピース  
2015年生まれ(7)



ウインドインハーヘア  
1991年生まれ(31)



セダブリランテス  
2014年生まれ(8)



アドマイヤジュピタ  
2003年生まれ(19)



ラストインパクト  
2010年生まれ(12)



ブライトエンブレム  
2012年まれ(10)



カレンミロティック  
2008年生まれ(14)



サトノティターン  
2013年生まれ(9)



ヴァーミリアン  
2002年生まれ(20)



バトードール  
2007年生まれ(15)



ロイカバード  
2013年生まれ(9)



モンドインテロ  
2012年生まれ(10)



ホーカーテンペスト  
2009年生まれ(13)



プロディガルサン  
2013年生まれ(9)

場 所：北海道沙流郡日高町富浜  
 見 学：見合わせ中  
 ※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



ディスクリートキャット  
 2003年生まれ(19)



アメリカンペイトリオット  
 2013年生まれ(9)



タリスマニック  
 2013年生まれ(9)



フリオース  
 2004年生まれ(18)



アドマイヤジャパン  
 2003年生まれ(19)



ファインニードル  
 2013年生まれ(9)



タワーオブロンドン  
 2015年生まれ(7)



パイロ  
 2005年生まれ(17)



サンダースノー  
 2014年生まれ(8)

ホークビル  
 2013年生まれ(9)

## メモリアルホース

### タイキシャトル

13戦11勝、2着1回、3着1回。11勝の中には日本の4つのG1、そしてフランスでのジャック・ル・マロワ賞とG1 5勝という、素晴らしい成績を収めた。そんなタイキシャトルですが、ゲート試験に2回も落ちて、デビューが遅れたという。

現役引退後は種牡馬としても優秀で、ウインクユーガーやメイショウポラーといった産駒を送り出した。

2017年に種牡馬を引退し、その後は引退馬協会のフォスターホースとなり余生を過ごしていましたが、今年8月、馬房で老衰による心不全のため亡くなりました。28歳でした。

尾花栗毛の美しい馬で、大変頭もよかったですと聞きます。忘れられない1頭です。



Taiki Shuttle

場 所：北海道浦河郡浦河町西幌別316  
 一般見学可：要事前申込（詳細は競走馬のふるさと案内所HPで確認）



アドミラブル  
2014年生まれ(8)



インカンテーション  
2010年生まれ(12)



エイシンヒカリ  
2011年生まれ(11)



オウケンブルースリ  
2005年生まれ(17)



ガンチャーレ  
2011年生まれ(11)



サブノジュニア  
2014年生まれ(8)



サングラス  
2011年生まれ(11)



サンライズソア  
2014年生まれ(8)



スマートオーデン  
2013年生まれ(9)



ダノンレジェンド  
2010年生まれ(12)



ダンカーク  
2006年生まれ(16)



ハッピープリント  
2011年生まれ(11)



メイショウパワー  
2001年生まれ(21)



ロジャーバローズ  
2016年生まれ(6)



ヒストリカル  
2009年生まれ(13)



マジェスティックウォリアー-2005年生まれ(17)



- ヴァンゴッホ 2018年生まれ(4)
- オーヴァルエース 2016年生まれ(6)
- キタノコマンドール 2015年生まれ(7)
- リッチーリッチー 2013年生まれ(9)
- ルックスザットキル 2012年生まれ(10)

場 所：北海道浦河郡浦河町西舎  
見学時間：7:00～16:00  
※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照

浦河にある乗馬等も楽しめる宿泊施設。  
馬と自然とふれあえるやすらぎの里施設です。



ウイングチケット  
1990年生まれ(32)

スズカフェニックス  
2002年生まれ(20)

## 荒木克己育成牧場

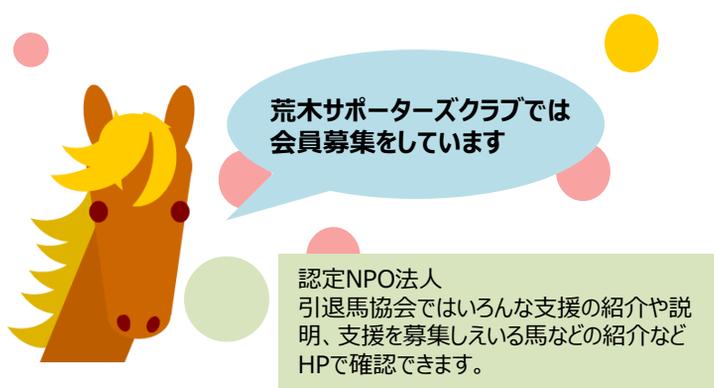
場 所：北海道日高郡新ひだか町静内春立  
見 学：現在見学中中止中 ※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照

荒木サポーターズクラブで引退功労馬を繁養



エスケープハッチ  
2000年生まれ(22)

オリオンザサンクス  
1996年生まれ(26)



**荒木サポーターズクラブでは  
会員募集をしています**

認定NPO法人  
引退馬協会ではいろんな支援の紹介や説明、支援を募集しえる馬などの紹介などHPで確認できます。

## 長濱ファーム

場 所：北海道新冠郡新冠町朝日

毎年、お邪魔させていただいている新冠の家族経営の生産牧場サラブレッドの親子を間近で見れる貴重な見学です。



ロードクロノス  
1995生まれ(26)

ブライアンズロマン  
1991年生まれ(31)



場 所：北海道沙流郡日高町庫富  
見 学：9:00～15:00（見学受付最終 14:30）木曜休み

繁殖生活、競走馬生活を退いた馬たちが暮らす功労馬繁養牧場。宿泊施設やカフェも併設。馬たちのグッズ販売も行っています。支援会員募集中です。



アドマイヤジャパン  
2002年生まれ(20)



エタリオウ  
2015年生まれ(7)



ゴールドティアラ  
1996年生まれ(26)



スカーレットレディ  
1995年生まれ(27)



ロジクライ  
2013年生まれ(9)



ビービーガルドン  
2004年生まれ(18)



タニギムレット  
1995年生まれ(27)



ローズキングダム  
2007年生まれ(15)



ヒルノダムール  
2007年生まれ(15)



スイズドリームス  
2014年生まれ(6)

他の繁養馬

グランドリビエール	2011生まれ(11)	エンパイアベガサス	2013生まれ(9)
アニバーサリー	2005生まれ(17)	ジョウノボヘミアン	2006生まれ(16)

メモリアルホース



オーシャンブルー

金鯉賞や中山金杯を勝利、2015年の有馬記念を最後に現役を引退。その後はレックスSにて、種牡馬となった。2020年に種牡馬を引退し、ヴェルサイユファームにて乗用馬に。翌年には引退繁養展示事業の対象馬となるが、今年8月、馬房で骨折により亡くなりました。14歳でした。



マジンプロスパー

阪急杯やCBC賞の連覇など活躍したマジンプロスパー。現役を引退後は生まれ故郷のハシモトファームに戻り、種牡馬入り。2018年には種牡馬を引退、そのままハシモトファームで過ごしていましたが、今年8月15歳で亡くなりました。



スウィフトカレント

小倉記念の勝馬。兄弟馬にアサクサデンエン、ピクトワールピサがいる事もあり、現役引退後は種牡馬となる。2015年より青森で繁養。3月に腸捻転のため、21歳で亡くなりました。





場 所：北海道日高郡新ひだか町静内田原  
見 学：15:00～16:00（当日二十間道路牧場案内所で申込み必要）※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



ガルボ  
2007年生まれ(15)

レッドベルジュール  
2017年生まれ(5)



ディーマジスティ  
2013年生まれ(9)



ダノンプレミアム  
2015年生まれ(7)



ウォータービルド  
2014年生まれ(8)

ナカヤマフェスタ  
2006年生まれ(16)



エポカードロ  
2015年生まれ(7)



モズアスコット  
2014年生まれ(8)



トーホウジャッカル  
2011年生まれ(11)



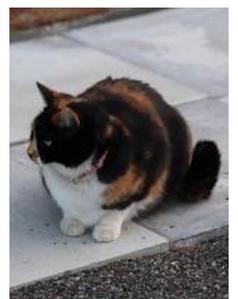
リーゼクラウン  
2006年生まれ(16)



カリフォルニアクロム  
2011年生まれ(11)



ラニ  
2013年生まれ(9)



## アロースタッド



ワンアンドオンリー  
2011年生まれ(11)



セイウンゴウセイ  
2013年生まれ(9)



シニスターミニスター  
2003年生まれ(19)



スズカコーズウェイ  
2004年生まれ(18)



ビッグアーサー  
2011年生まれ(11)



トウケイヒーロー  
2009年生まれ(13)



ミュゼスルタン  
2012年生まれ(10)



シャンハイボビー  
2010年生まれ(12)



ヤマカツエース  
2012年生まれ(10)



ドリームバレンチノ  
2007年生まれ(15)



トランセンド  
2006年生まれ(16)

ステルヴィオ  
2015年生まれ(7)

## 岡田スタッド

場 所：北海道日高郡新ひだか町静内目名  
見 学：10:30～11:30  
※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



サウンドトゥルー  
2010年生まれ(12)



場 所：北海道日高郡新ひだか町静内目名  
 学 期：11:00～12:00（当日二十間道路牧場案内所で申込み必要）  
 ※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



スノドラゴン  
2008年生まれ(14)



エイシンフラッシュ  
2007年生まれ(15)



ゴールドドリーム  
2013年生まれ(8)



パトロワ  
2007年生まれ(15)



ヴァンセンヌ  
2009年生まれ(13)



ニホンピロアワーズ  
2007年生まれ(15)



ショウナンバツハ  
2011年生まれ(11)



ブルドックボス  
2012年(10)



ノヴェリスト  
2009年生まれ(13)



ハクサンムーン  
2009年生まれ(13)



アグニシャイン  
2014年生まれ(8)



エピカリス  
2014年生まれ(8)



テイエムジンソク  
2012年生まれ(10)



タニノフランク  
2015年生まれ(7)



レーヴミストラル  
2012年生まれ(10)



シルポート  
2005年生まれ(17)



スクリーンヒーロー  
2004年生まれ(18)



マツリダゴッホ  
2003年生まれ(19)



- ゴルトマイスター 2016年生まれ (6)
- セイクリズムン 2006年生まれ (16)
- ミッキーグローリー 2013年生まれ (9)
- レガーロ 2013年生まれ (9)



スマートファルコン  
2005年生まれ(17)



ビーチパトロール  
2013年生まれ(9)



### ゼンノプロイ

天皇賞秋、ジャパンC、有馬記念と秋の古馬G13連勝という素晴らしい成績を残し、現役引退後は社台Sで種牡馬入り。サンテミリオンやマグニフィカ、ペルーサなどの活躍馬を送り出した。9月、心不全で亡くなりました。22歳でした。

### アポロケンタッキー

2016年の東京大賞典を勝ち、長くダート界で活躍。2019年秋に現役を引退し、レックススタッドで種牡馬入りしました。残念ながら、今年6月に盲腸破裂のため10歳の若さで亡くなりました。残した2世代の産駒たちが活躍することを願います。



### ノボジャック

JBCスプリント等のダート短距離で活躍。現役引退後は種牡馬に。2020年には種牡馬を引退。繁養されていたクラウンホースメイトで余生を過ごしていましたが、2月老衰のため25歳で亡くなりました。



### ウグネリアン

2018年に日本ダービー馬。福永騎手にダービージョッキーの称号を、金子氏にとっては通算4頭目のダービーオーナーの栄誉をもたらした。古馬になってからは、喉鳴りの影響等もあり苦戦が続いていた。2021年JC後には肝臓を悪くして治療、療養に入るが、2022年1月入院馬房にてこの世を去った。死亡後の解剖で、鶏の卵ほどの胆石が胆管に詰まり、多臓器不全が起きた事が原因で亡くなったことが判明。馬に胆石が見つかったのは日本中央競馬界において初めてだったそうです。7歳、あまりにも早く、壮絶すぎるその馬生でした。



# メモリアルホース

## ライヴリマウント

フェブラリーSや帝王賞を勝つなど、ダートで活躍。現役引退後は種牡馬となり、ミツアキタービンなどを送り出した。  
種牡馬引退後はホロシリ乗馬クラブにて乗馬となり、2014年からは功労馬としてオギオギ牧場で余生を送っていました。  
8月31歳で亡くなりました。



## タイムパラドックス

ジャパンカップダート、帝王賞などダートG1を5勝。現役引退後はビッグレッドファームにて種牡馬入り。種牡馬入りには日高の生産者の要望があったと聞きます。  
その期待を背負い、ソルテヤトウケイタイガーなど活躍する産駒たちを誕生させた。2019年に種牡馬を引退し、浦河のAERUで功労馬として第3の生活をスタート。  
残念ながら、今年2月体調を崩し24歳で亡くなりました。

## 2022年 亡くなった馬たち

- 1月 キョウエイポーガン  
テレグノシス
- 2月 マックスロゼ  
ランニングゲイル  
ピッククインバイオ  
ピットファイター  
ビワハイジ
- 3月 マイネイサベル
- 4月 ピンカメオ
- 5月 ソリタリーキング  
トウカイオーザ
- 6月 ヴァイスメテオール  
リトルアマポーラ  
メジロベイリー
- 7月 アドマイヤスバル  
メジロマイヤー  
オグリワン  
マイネルバサラ  
ノーヴァレンダ  
センテリユオ
- 8月 フライングアップル  
スピードワールド



## ニキーヤ

アメリカで生まれ、後に追分ファームにて繋用。ゴールドアリュールやゴールスキーの活躍馬を出した優秀な母。その娘たちからも活躍馬は多数。  
父系、牝系ともに日本の競馬界に影響を与えている血統の祖となっている。  
2018年には繁殖を引退し、余生を送っていましたが残念ながら、3月亡くなりました。

## アサヒライジング

クイーンS1着、アメリカンオークス2着等の活躍をした後、生まれ故郷に戻り繁殖生活へ。  
2021年の出産を最後に繁殖生活を引退。  
鹿児島ของホーストラストで余生を過ごしていたが、骨折により、今年1月19歳で亡くなりました。



## エイシルーデンス

チューリップ賞や中山牝馬Sを勝つなど活躍後は生まれ故郷で繁殖生活に入る。  
2003年からの繁殖生活の中では不受胎や死産等も多く、順調とは言い難かったが、残した娘たちが繁殖としてエイシンヴァラー等の活躍馬を送り出している。  
2020年に繁殖を引退、引退馬協会のフォスターホースとなり余生を過ごしたが今年2月亡くなる。26歳でした。



場 所：北海道新冠郡新冠町朝日  
見 学：15:00～15:30  
※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



ゴールドアクター  
2011年生まれ(11)

アジアエクスプレス  
2011年生まれ(11)

カレンブラックヒル  
2009年生まれ(13)

エスワールドシー  
2005年生まれ(17)



アルバート  
2011年生まれ(11)

ミッキーロケット  
2013年生まれ(9)

レインボーライン  
2013年生まれ(9)

キタサンミカヅキ  
2010年生まれ(12)

サウンドボルケーノ  
2008年生まれ(14)



インディチャンプ  
2015年生まれ(7)

ニシケンモノノフ  
2011年生まれ(11)

トビーズコーナー  
2008年生まれ(14)

リアルインパクト  
2008年生まれ(14)

ミッキースワロー  
2014年生まれ(8)

# 優駿スタリオンステーション



サングレーザー  
2014年生まれ(8)



トゥザワールド  
2011年生まれ(11)



ワールドプレミア  
2016年生まれ(6)



サウンドスカイ  
2013年生まれ(9)



ロジュニヴァース  
2006年生まれ(16)



タイセイレジンド  
2007年生まれ(15)



フサイチセブン  
2006年生まれ(16)



ホックータルマエ  
2009年生まれ(13)



ロジクライ  
2013年生まれ(9)



モーニン  
2012年生まれ(10)



ベストウォーリア  
2010年生まれ(12)



ケイティブレイブ  
2013年生まれ(9)



リオンリオン  
2016年生まれ(6)



ミスターメロディ  
2015年生まれ(7)



シルバーステート  
2013年生まれ(9)

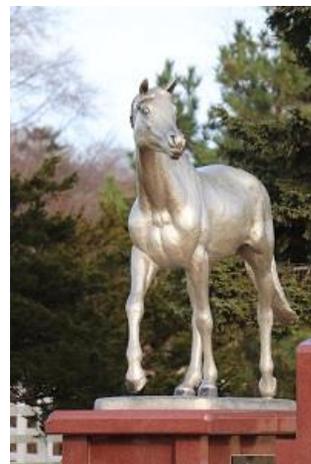


ヘニーヒューズ  
2003年生まれ(19)

## 優駿メモリアルパーク

場 所：北海道新冠郡新冠町朝日  
見 学：10:00～16:00

オグリキャップなどの名馬にちなんだ資料展示も  
されている記念館。  
年間を通して来場可能。  
軽食やグッズ販売もあります。  
また、新冠産の名馬たちのお墓参りも出来る  
スポットです。





アスカリチャン  
2007年生まれ(15)



ヤングマンパワー  
2012年生まれ(10)



場 所：北海道新冠郡新冠町西泊津  
見 学：13:30～15:00  
※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



アポロキングダム  
2003年生まれ(19)



ギンザグリングラス  
2005年生まれ(17)



ノブワイルド  
2012年生まれ(10)

マルターズアボジー  
2012年生まれ(10)



ハラモシュテソーロ  
2017年生まれ(5)



マスクゾロ  
2011年生まれ(11)



ベーカバド  
2007年生まれ(15)



モジアナフレイバー  
2015年生まれ(7)



バンドワゴン  
2011年生まれ(11)

## チェリーフィールズ

場 所：北海道日高郡新ひだか町静内田原  
種牡馬、引退競走馬等の預託も行っている牧場



アスクピータパン  
2018年生まれ(4)

ゴルトマイスター  
2016年生まれ(6)

ナムラタイト  
2006年生まれ(16)



## ビッグレッドファーム

場 所：北海道新冠郡新冠町明和

見 学：13:00～16:00

※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



アドマイヤマックス  
1999年生まれ(23)



ウインブライト  
2014年生まれ(8)



ジョーカプチーノ  
2006年生まれ(16)



ダノンパレード  
2008年生まれ(14)



ローズインメイ  
2000年生まれ(22)



コスモパルク  
2001年生まれ(21)



ベンバトル  
2014年生まれ(8)



ゴールドシップ  
2009年生まれ(13)

## 社台ブルーグラスファーム

場 所：北海道沙流郡日高町旭町

見 学：一般見学不可

日高にある社台ファームの分場  
繁殖を退いた功労馬たちも暮らしています。



アグネスフライト  
1997年生まれ(25)



スティンガー  
1996年生まれ(26)



ダンスインガムード  
2001年生まれ(21)



ローエン格林  
1999年生まれ(23)



場 所：北海道勇払郡安平町早来源武275  
 見 学：現在見学中止  
 ※詳細は競走馬のふるさと案内所HP参照



アドマイヤマーズ  
2016年生まれ(6)



サトノクラウン  
2012年生まれ(10)



ドレフォン  
2013年生まれ(9)



リアルスティール  
2012年生まれ(10)



サトノアラジン  
2011年生まれ(11)



スワーヴリチャード  
2014年生まれ(8)

コントレイル  
2017年生まれ(5)



オルフェーヴル  
2008年生まれ(14)



キタサンブラック  
2012年生まれ(10)



ダイワメジャー  
2001年生まれ(21)



サトノダイヤモンド  
2013年生まれ(9)



ロードカナロア  
2008年生まれ(14)



クリソベリル  
2016年生まれ(6)

シスキ  
2017年生まれ(5)

ナダル  
2017年生まれ(5)

ニューイヤーズデイ  
2011年生まれ(11)

ブリックスアンドモルタル  
2012年生まれ(10)

ポエティックフレア  
2018年生まれ(4)



# 社台スクリオンステーション



イスラボニータ  
2011年生まれ(11)



レッドファルクス  
2011年生まれ(11)



モーリス  
2011年生まれ(11)



ダノンキングリー  
2016年生まれ(6)



レイデオロ  
2014年生まれ(8)



ロゴタイプ  
2010年生まれ(12)



ミッキーアイル  
2011年生まれ(11)



キズナ  
2010年生まれ(12)



ハービンジャー  
2006年生まれ(16)



キンシャサノキセキ  
2003年生まれ(19)



マインドユアビスケツ  
2013年生まれ(9)



エピファネア  
2010年生まれ(12)



サトウツルナリア  
2016年生まれ(6)



ルヴァンスレーヴ  
2015年生まれ(7)



ルーラーシップ  
2007年生まれ(15)

種牡馬のラインナップはあくまでも参考資料です。シャトルでない種牡馬もいますし、他の厩舎や他の牧場に居る場合もあります。以外に種牡馬の移動は多いものです。ご理解ください。





© Kazue Sato